消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

１．事故・ヒヤリハットの別	事故事例
２．体験した事例の名称	火災出動の途上、消防車が横転して負傷した。
３．体験した事例の中心的要素	道路が轍状となっていた所に雨水が溜まっていた。スピードを出したまま緩い右カーブを曲がったところ車体のリヤが流され,右、左に蛇行し、右側の歩道縁石に右前輪が衝突し、弾みで助手席側を下にした状態で横転、助手席にいた隊長が車体に挟まれて頭部を負傷したもの。
４．体験した事例の原因・理由	・カーブに入る前のスピードの出し過ぎ（隊長の指示なし）（あせり） ・タイヤ不適 ・車両の過積載

【体験した事例の直接的原因について】

１．体験した事例の直接的な原因	

【体験した事例について】

１．発生日時	平成　1 年 5 月 26 日　　午前　12 時頃
２．発生した当時の天候	雨
３．発生した活動現場	屋外：
４．体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
５．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
６．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故、
７．事例体験時の活動	火災、その他：火災出動時の緊急走行中　[出動途上、]
８．（７の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：火災出動時の緊急走行中
９．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者Ａ	年齢[36]歳、 勤続年数[16]年、 現場経験年数[16] 年、 階級[消防司令補]、同様の活動 [頻繁]、 任務 [車長]
○当事者Ｂ	年齢[28]歳、 勤続年数[9]年、 現場経験年数[9]年、 階級[消防士]、同様の活動 [１年に数度]、 任務 [機関員]
○当事者Ｃ	年齢[18]歳、 勤続年数[0]年、 現場経験年数[0]年、 階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 （当事者が４人以上の場合）	

１１．事例発生の経過。

	誰（何）が	なにをした	その他・備考など
経過１	Ａ．Ｂ．Ｃ	ドアなしの消防ポンプ車で火災出動した	
経過２	A	ドア無しのため、新職員にカーブで振り落とされないよう手摺りで体を確保しておくよう指示する。	
経過３	Ａ．Ｂ．Ｃ	消防車が古いため、先行する指令車及び他の消防車より遅れる。	
経過４	B	先行する消防車より遅れていたため、スピードを落とさないまま右カーブに入る。	
経過５	A	雨水の溜まった道路状態にもかかわらず、危険予知できず機関員にスピードの抑制を指示しなかった。	
経過６	B	右カーブを曲がり切った所で車体の後部が左側に流れ、直線道路上で右、左に蛇行し、修正できず、右側の歩道縁石に右前輪が衝突し、弾みで助手席側を下に横転した。	
経過７			
経過８			
経過９			
経過10			

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。資機材の不機能が適切だった。指揮者が適切に指示しなかった。

○心理・体調について

ａ．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

ｂ．注意力が欠如していた

・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

ｃ．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

ｄ．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

ｅ．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

ｆ．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

ｇ．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

ｈ．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

ｉ．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

ｋ．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

ｌ．その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

○注意力欠如、焦り等の対策について

緊急走行であっても気象、道路状況及び出動車両の車種により、スピードを抑えて運転することを隊長、機関員に徹底させた。

○装備・資機材の対策について

・ラグタイヤからリブタイヤに替えた。（消防本部全体）
・消防車の積載物を必要最小限にした。（消防本部全体）
・ドア付き消防車に更新した。　　（消防本部全体）

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について